

和歌山県の地震

第 28 卷 11 号
令和 2 年 11 月

和歌山県の地震活動

| | |
|---------------------------|------------|
| 震央分布図 | ・・・・・・・・ 1 |
| 断面図 | ・・・・・・・・ 2 |
| 概況 | ・・・・・・・・ 2 |
| 和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧 | ・・・・・・・・ 3 |
| 震度分布図 | ・・・・・・・・ 3 |

地震メモ No. 324

| | |
|---------------------------------|------------|
| 南海トラフ地震関連解説情報 (令和 2 年 12 月 7 日) | ・・・・・・・・ 5 |
| 顕著な災害を起こした自然現象の名称について | ・・・・・・・・ 6 |

- * この資料に使われている震源要素 (北緯・東経) は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000 (行政界・海岸線) を使用しています。

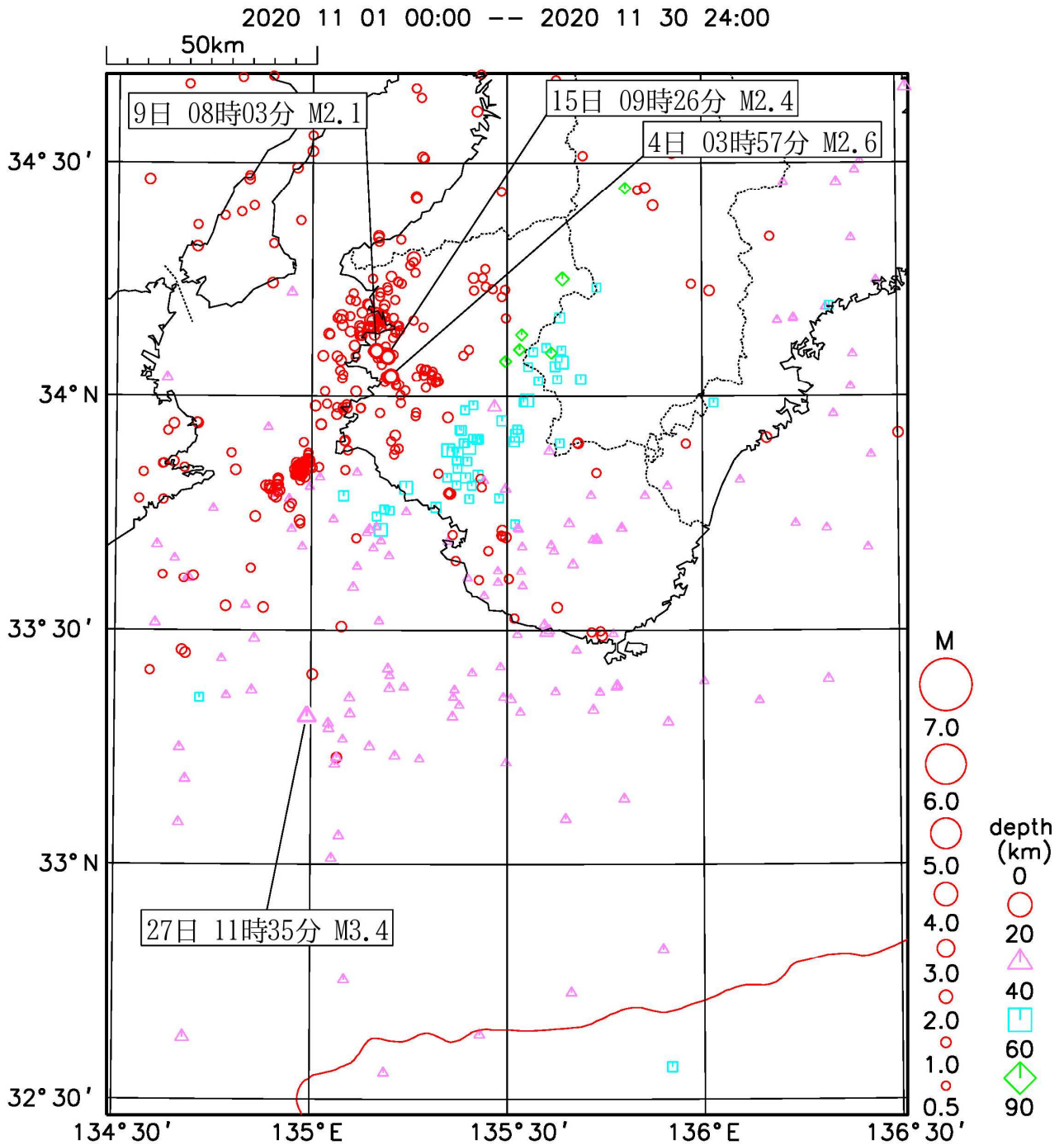
和歌山地方気象台

和歌山県の地震活動

2020年11月

和歌山地方気象台

震央分布図

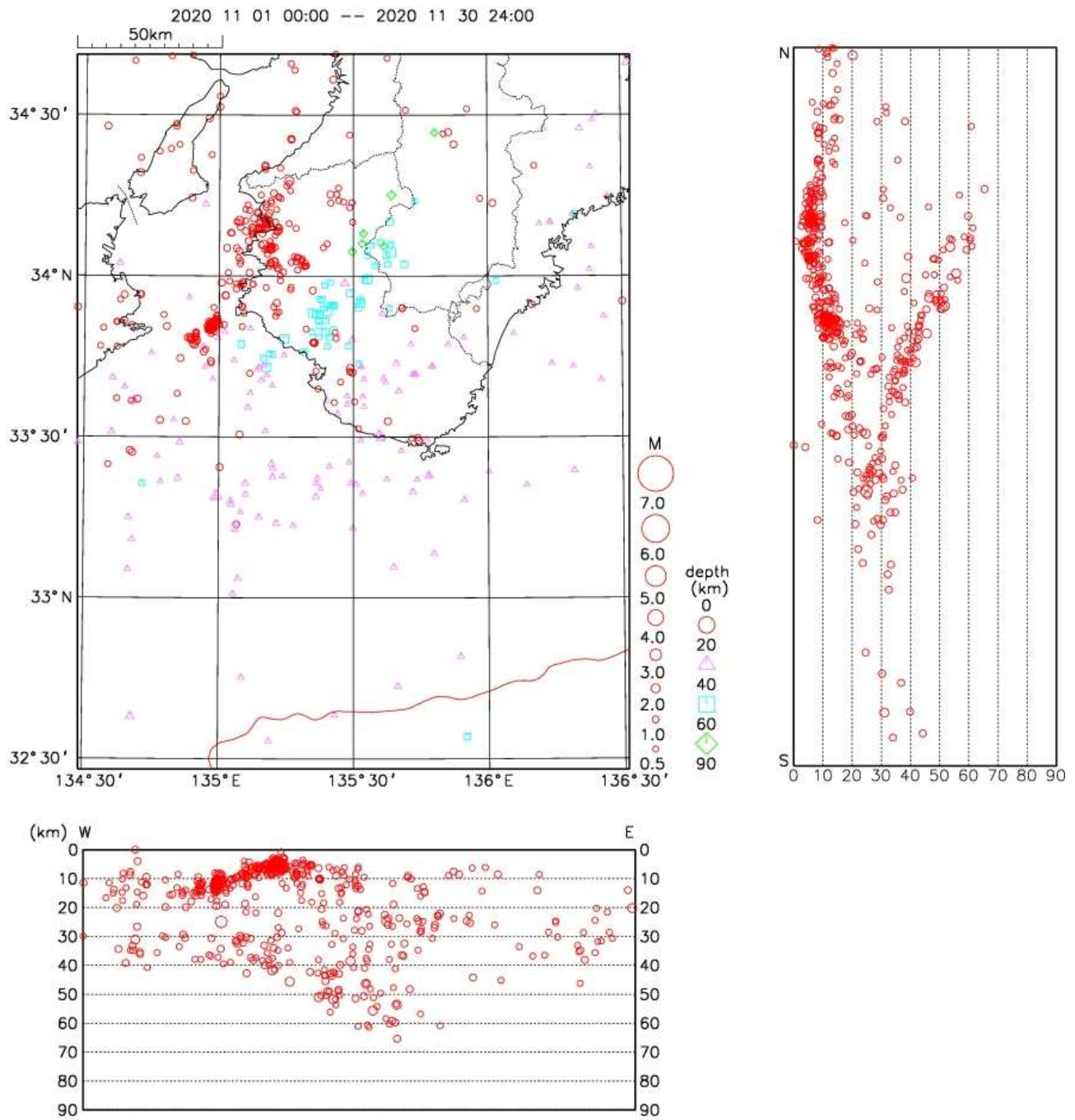


震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しています。

断面図



概況

11月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は22回(前月は22回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、27日11時35分 四国沖の地震(M3.4、深さ25km)でした。

11月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、4回(前月1回)でした。

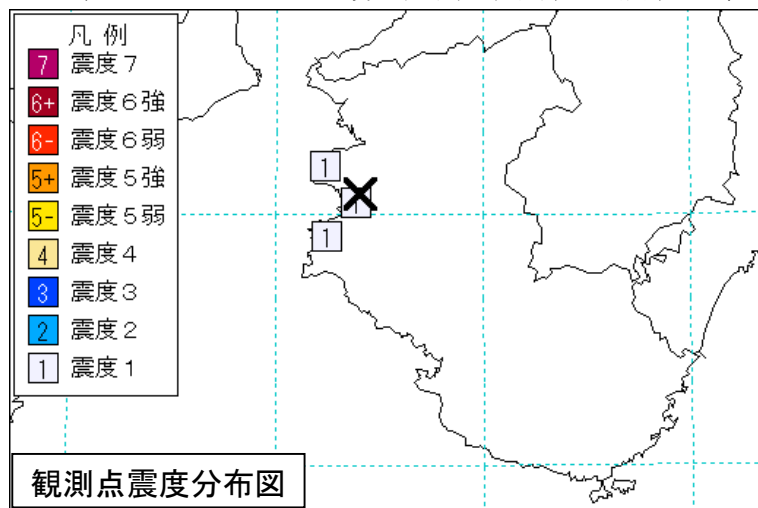
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧

| 発震時（年月日時分） | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | マグニチュード |
|--|--------|-------------|--------------|------|---------|
| 各地の震度（和歌山県内のみ掲載） | | | | | |
| 2020年11月04日03時57分 | 和歌山県北部 | 34° 02.6' N | 135° 12.1' E | 5km | M2.6 |
| 和歌山県 震度 1：有田市初島町*、湯浅町青木*、由良町里* | | | | | |
| 2020年11月09日08時03分 | 和歌山県北部 | 34° 05.8' N | 135° 09.9' E | 6km | M2.1 |
| 和歌山県 震度 1：有田市初島町* | | | | | |
| 2020年11月15日09時26分 | 和歌山県北部 | 34° 05.0' N | 135° 11.6' E | 4km | M2.4 |
| 和歌山県 震度 1：海南市下津*、有田市初島町*、湯浅町青木*、有田川町下津野* | | | | | |
| 2020年11月27日11時35分 | 四国沖 | 33° 18.9' N | 134° 59.4' E | 25km | M3.4 |
| 和歌山県 震度 1：日高川町土生* | | | | | |

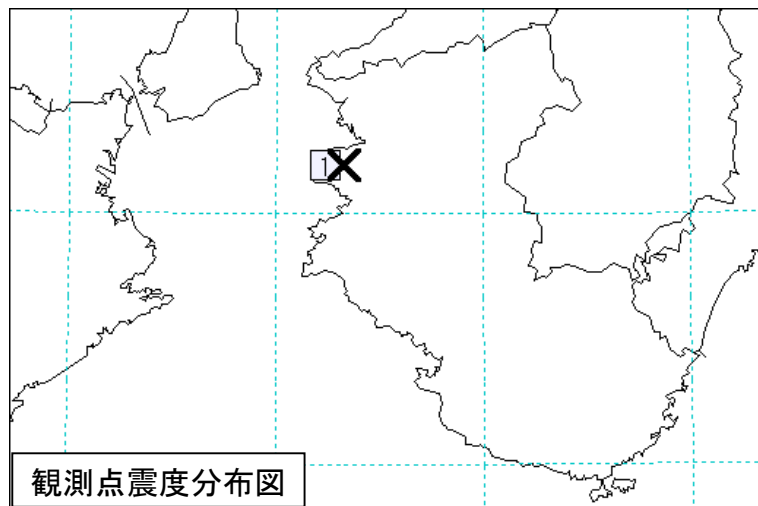
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震度分布図（図中の×は震央）

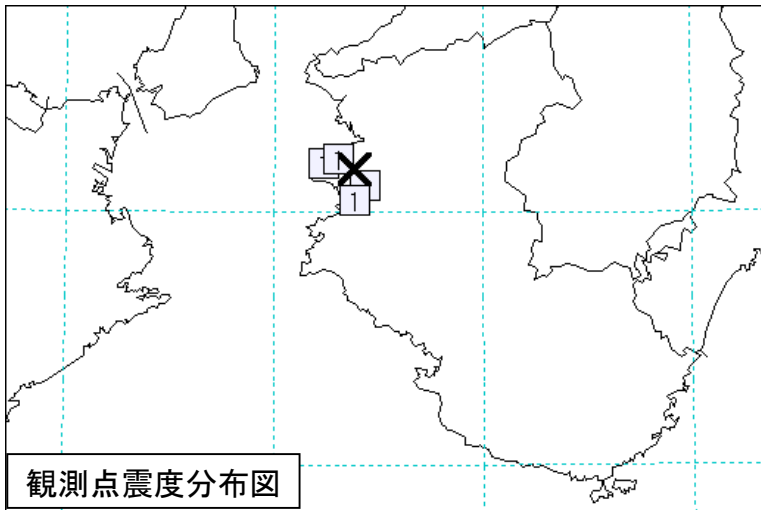
2020年11月04日03時57分 和歌山県北部の地震(M2.6、深さ5km)



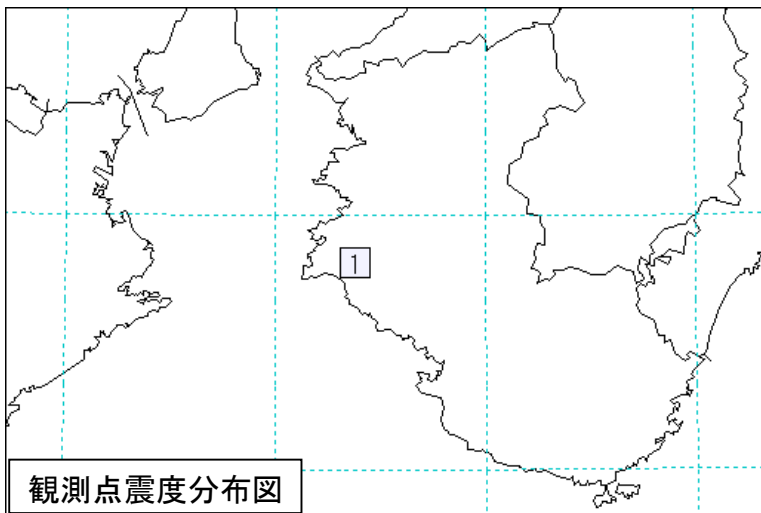
2020年11月09日08時03分 和歌山県北部の地震(M2.1、深さ6km)



2020年11月15日09時26分 和歌山県北部の地震(M2.4、深さ4km)



2020年11月27日11時35分 四国沖の地震(M3.4、深さ25km)



南海トラフ地震関連解説情報 (令和2年12月7日)

南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 紀伊半島北部: 10月31日から11月6日
- (2) 四国西部: 11月20日から27日

2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。また、上記(1)の期間に同地域及びその周辺のGNSSのデータでも、わずかな地殻変動を観測しています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2020年夏頃から紀伊半島西部・四国東部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

(長期的な地殻変動)

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

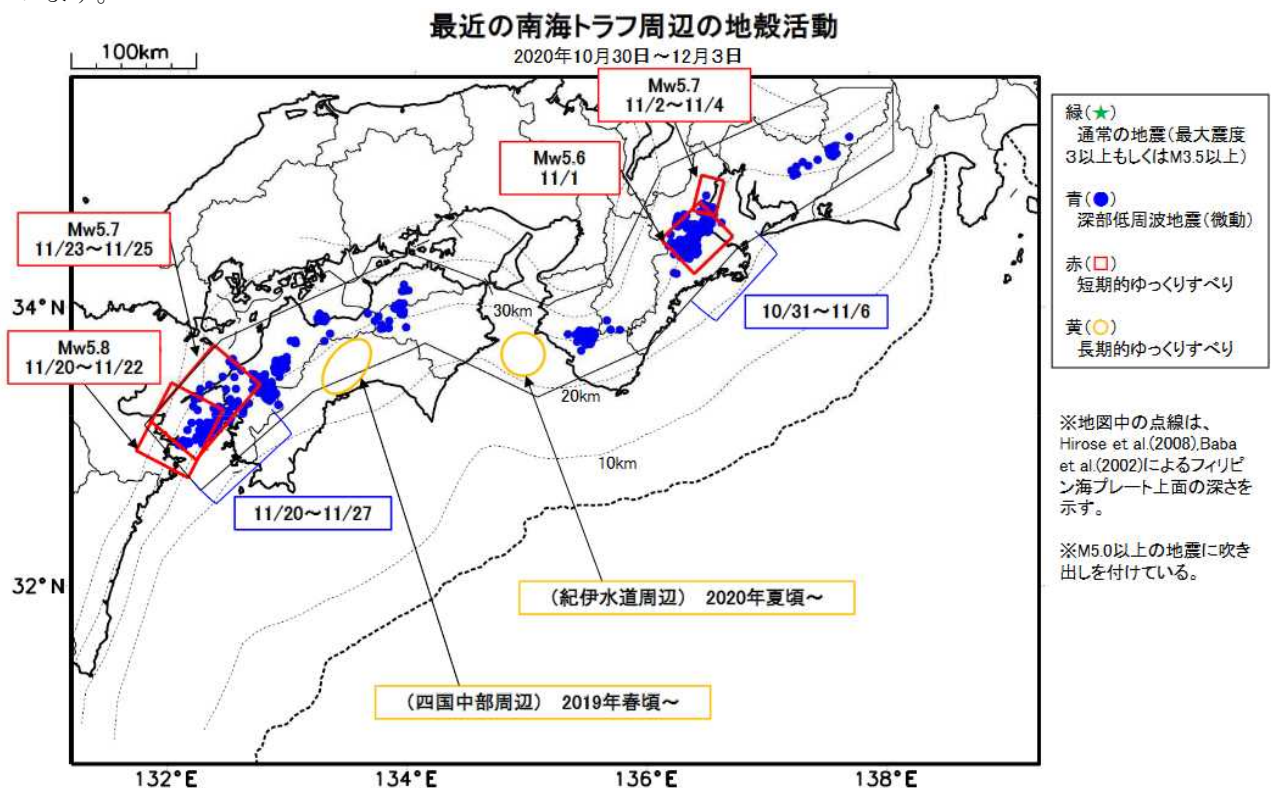


図 南海トラフ周辺の地殻活動をとりまとめた図

この資料は、「南海トラフ地震関連情報」の普及を目的に、発表された『南海トラフ地震関連解説情報』の内容を抜粋、編集加工した概略を掲載しています。各観測状況の評価等、より詳細な事項は以下URLの資料をご覧ください。

- ・ 南海トラフ地震関連解説情報 <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>
- ・ 報道発表資料 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html> ※新着情報をご覧ください

顕著な災害を起こした自然現象の名称について

気象庁では、顕著な災害を起こした自然現象の名称を定めています。これとは別に、災害に対して政府が名称を付けることがあります。「自然現象」と「災害」に、それぞれ名称があることをご存じでしょうか。

例えば、1995年1月17日に兵庫県を襲った地震の名称は、「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と気象庁が定めています。この地震により引き起こされた災害に対して政府が「阪神・淡路大震災」と名付けています。

今回は、気象庁が定める顕著な災害を起こした自然現象の名称について説明をします。

1. 名称を定める目的

名称を統一することにより応急対策活動等に資するとともに、当該災害における経験や貴重な教訓を後世に伝承するためです。

2. 名称を定める基準及び付け方

「気象（台風を除く）」、「台風」、「地震」、「火山」ごとに基準等を決めており、気象庁ホームページに掲載しています（<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/meishou/meishou.html>）。「地震」については、下記のとおりです。

(1) 「地震」の名称を定める基準

(ア) 地震の規模が大きい場合

陸域：M7.0以上（深さ100km以浅）かつ最大震度5強以上

海域：M7.5以上（深さ100km以浅）であり、かつ最大震度5強以上または津波の高さ2m以上

(イ) 顕著な被害が発生した場合（全壊家屋100棟程度以上の家屋被害、相当の人的被害など）

(ウ) 群発地震で被害が大きかった場合等

(2) 名称の付け方

原則として「元号年＋地震情報に用いる地域名＋地震」としますが、名称を定める際に地域独自の名称がある場合には、それを考慮します。

なお、定めた名称は、一連の地震活動全体を指し、基準を満たす地震が複数発生した場合には、原則として一連の地震活動が始まった時点の元号年を用います。

また、名称を文書等で使用する際、必要に応じて元号年に続いて括弧書きで西暦年を併記する、又は元号年を西暦年に置き換えることがあります。

(3) 名称を定める時期

名称を定める基準を満たす場合、できるだけ速やかに名称を定めます。

3. 名称が定められた地震

気象庁が定めた自然現象の一覧は、気象庁ホームページに掲載（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/meishou/meishou_ichiran.html）しています。過去10年間に名称を定めた地震は、以下の3つです。

| 名称 | 一連の地震活動が始まった日 |
|------------------------|---------------|
| 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 | 平成23年3月11日 |
| 平成28年(2016年)熊本地震 | 平成28年4月14日 |
| 平成30年北海道胆振東部地震 | 平成30年9月6日 |